

# 島根陸協だより

一般財団法人島根陸上競技協会は各競技団体と協力し、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及と振興を図り、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を育てるための活動を行っています。



第17号

発行：島根陸上競技協会総務委員会広報部 2021年3月19日発行

一般財団法人 島根陸上競技協会

〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号(松江市宮陸上競技場内) TEL/FAX: 0852-23-6686 ホームページ: <https://www.shimariku.jp>

## 令和2年度 一般財団法人島根陸上競技協会 栄章受賞者

受賞者が以下のみなさんに決定し、1月31日(日)に授賞式が行われました。(敬称略)



功労章

### ●島根陸上競技協会功労章 (11名)

山本敏熙	安来市陸協推薦
長谷川 潔	松江市陸協推薦
青木明義	出雲市陸協推薦
三崎重美	出雲市陸協推薦
伊藤行正	出雲市陸協推薦
長岡三郎	出雲市陸協推薦
原 三郎	仁多郡体協推薦
安原利明	仁多郡体協推薦
渡邊 淳	浜田市陸協推薦
仲田浩慈	浜田市陸協推薦
花本国雄	益田市陸協推薦

### ●島根陸上競技協会優秀指導者賞 (6名)

亀井修三	益田東高校
青山和彦	松江工業高校
柳楽達也	大社高校
岸 達也	仁多中学校
内藤美枝	浜山中学校
藤松 均	河南中学校

この1年間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの大会が中止になる厳しい状況の中で、素晴らしい結果を残した選手の皆さん、指導者の皆さんに心から敬意を表します。



優秀指導者賞

### ●島根陸上競技協会優秀選手賞 (島根県新記録・最高記録樹立、全国大会8位入賞) (15名)

田中亮伍	岐阜協立大学	ハンマー投県新記録、日本学生7位
勝田 築	早稲田大学	110mH日本学生5位
長崎さゆり	青山学院大学	U20全国陸上競技大会100mH3位
ジュティ・ジャングッチ	益田東高校	1500m、3000m山陰高校・県高校新記録(国際)
富田陸斗	松江工業高校	ハンマー投県高校新記録
五嶋美月	大社高校	女子棒高跳県高校新記録、全国高校8位
鳥屋尾優介	大社高校	走高跳全国高校6位
藤原琉成	仁多中学校	200m全国中学8位
松崎来逢・川上陸哉 川上悠介・石飛洸人	浜山中学校	1年男子4×100mR県中学新記録
堀恵里花・田中萌香 山本美祐・江角和華	河南中学校	1年女子4×100mR県中学新記録



優秀選手賞(高校)



優秀選手賞(中学)





# 全国高校駅伝、平田高校 悲願の男女アベック出場！

2020年10月31日に浜山公園で行われた島根県高校駅伝大会で、平田高校が男女とも優勝し全国高校駅伝への出場を果たしました。女子は10年連続12回目の出場、男子は昨年まで24年連続で優勝していた出雲工業高校を倒しての初出場となりました。12月20

日に京都で行われた全国高校駅伝では、女子は自校の最高順位を更新する活躍、男子は初出場で思うような結果は残せませんでした。1・2年生中心のチームが来年度へ向けて大きな飛躍を期待させてくれました。男女の主将と多久和政徳コーチにご寄稿いただきました。

大会  
結果

女子 第25位 1時間11分57秒

男子 第43位 2時間11分32秒

## 感謝の気持ちを忘れない

女子主将 3年 今岡宥莉香

3年生になると、新型コロナウイルスの影響でみんなと練習できない日々が続いたり、たくさんの大会が中止になったりしました。私の友達の中には、3年間の集大成を発揮する大会がなくなりモヤモヤを抱えたまま引退する人が沢山いました。みんな、とても悔し

かったと思います。今まで当たり前だった日常が変わり、私は県総体だけでなく県駅伝や全国駅伝もなくなるだろうと思いました。そして目標を見失い、家での自主練習に身が入らなくなりました。しかし自粛期間が終わってから沢山の方々のお陰で県総体を開催して



もらうことができました。「沢山の方々への感謝の気持ちを忘れない」ということの大切さを改めて実感しました。有難いことに県駅伝も全国駅伝も開催してもらうことができ、私はとても幸せだと感じました。しかし今年は去年と違い、県駅伝も全国駅伝も自分の力を発揮することが出来ずに終わってしまいました。県駅伝での優勝も、全国駅伝での25位も2区から5区のみながら、持っている以上の力を出し切ってくれた結果でした。申し訳なかったし悔しかったけど、自分一人だけで闘うのではなく仲間と一緒に闘える駅伝をさらに好きになりました。

この2年間で沢山の楽しいこと、辛いこと、苦しいことがありました。その分沢山の解決策や改善点を考え、競技力だけでなく心もかなり成長しました。そし

て高校3年間で見て感じて得たものは、私の人生においてとても大切な宝物となりました。陸上競技をしていなかったら恩師やチームメイトと出会うことが出来なかったし、全国駅伝という大きい舞台を経験することも出来なかったと考えると、陸上競技は辛いこともあるけど挑戦してみて良かったなと思います。私と真剣に向き合ってくださいのコーチ、楽しいことも辛いことも共有して切磋琢磨できる最高の仲間と過ごすことが出来た3年間は忘れられない思い出になりました。私は大学でも陸上競技を続けます。辛いことに目が行きがちになるけど4年後に、やって良かった、宝物のような経験だったと言えるようにストイックに取り組んでいきたいと思っています。

## 支えられて

今年の県駅伝でのアベック優勝は、コロナウイルス感染症という今までとは違った状況下でも、「いつもどおり」自分たちで練習ができた結果だと思います。自粛期間中、一人だと不安になるので、個々の状況についてこまめに連絡を取り、お互いの頑張りを確認することで士気を高めていきました。そして、部員一人ひとりが同じ目標に向かって一丸となって取り組んだ結果です。

全国駅伝では、お世話になった皆さんを笑顔にするという思いで走りました。男子は、5000mの平均タイムが47チーム中46位での参加となり、目標は2時間8分を切ることでした。結果は2時間11分32秒と遠く及ばず悔しい結果となりました。女子が25位で平田高校過去最高順位といういい流れを作ってくれたのに活か

## 男子主将 3年 直良聖也

すことができませんでした。私自身、緊張もありましたが、最初で最後の大舞台を楽しく力いっぱい走ることができました。前の選手に追いついたのに、最後のスパート勝負で負けてしまい悔しい思いをしました。自分の持てる力は全て出し切れたので、今までの中で最高の駅伝となりました。来年は、今年得た経験を活かし島根県最高記録の更新を目指し頑張りたいです。

私は、中学校から6年間陸上競技を続けてきましたが、楽しい思い出ばかりではなく、挫折を経験したこともありました。この私にしかない経験を活かし、将来は、中学校の教員として、陸上競技の指導者として一人でも多くの人に走ることが好きになってもらいたいです。

## 四半世紀を終えて

コロナウイルス禍の中、女子は県高校駅伝10連覇、男子が県高校駅伝初優勝に向け本校の挑戦は始まりました。目標のひとつでもあった全国高校総体の中止など、次々と大会が中止され、先の見えない状態が続きました。「全国高校駅伝は開催されるのか」という不安を抱きながら子供らの自主性を信じるしかありませんでした。

休校が解け、最初の練習で集まってきた子供らは、いつでも試合に出られるくらいの仕上がりで「これで戦える」という確信を得ました。今年度は感染リスクを考え、合宿を行わないこととし、その代わりに走行距離は減少しますが、年間を通して「中負荷」の練習強度を選択、乳酸性作業閾値の向上をねらいました。10月までは思ったような結果も出ず、子供らには「最後の3週間の調整に全てをかける」と伝え、じっくりと土台を作っていました。

## 平田高校陸上競技部コーチ 多和田政徳

結果、県高校駅伝はアベック優勝を果たすことができ、全国高校駅伝では、男子は一時最下位に転落するも粘り抜き42位、女子は1区以降順位を上げ続け本校最高順位である25位で今年度の駅伝を終えることが出来ました。子供らは自らがやるべきことを理解し、どんな状況下でも「実力を発揮できる力」を身につけることが出来たのかなと感じます。後は能力を高めることに集中できます。

幾多の困難を乗り越え、全国高校駅伝を開催して頂いた京都市の方々や、トラックレースの合計タイムで競うのではなく、あくまでも「駅伝」での県予選を開催して頂いた県高校体育連盟の皆様へ感謝します。

子供らとともに「島根の長距離を強くする」という目的を持ち、中学生や社会人、市民ランナーにも通用するような指導方法を模索しながら精進を続けたいと思います。

# 島根出身のアスリートたちの活躍

## 第104回日本陸上競技選手権大会 島根県出身の2人が優勝

女子400m

**青山 聖佳** 大阪成蹊AC

【出身校】松江一中-松江商業高校-大阪成蹊大学

男子棒高跳

**来間 弘樹** ストライダーズAC

【出身校】出雲一中-大社高校-順天堂大学

### 2020日本選手権の優勝について

#### 青山 聖佳

新型コロナウイルスの影響により、競技会の延期や中止、練習の制限などがあり例年とは大きく異なるシーズンとなりました。私自身、「試合で走れる日が来るのだろうか」と不安に思う時もありました。モチベーションが下がりがかけていた時、東京五輪の1年延期が決まりました。今は来年へ向けての準備期間だと思いやるべきことが明確になりました。今年は日本選手権2連覇と自己ベストの更新を目標に練習に励みました。また、徐々に競技会も再開され、当たり前前に開催されていた試合のありがたみを改めて感じました。

迎えた日本選手権決勝。日本記録更新を目指し試合に臨みました。しかし、自分の思い描いていたレースとは全く違う展開になりました。気持ち空回りし、自分の持ち味である前半の積極的な走りが全くできませんでした。後半の200mから追いつけ何とか優勝できましたが、記録も53秒55と目標にしていた記録には程遠く、悔しい結果となりました。満足のいく走りとはなりませんでした。課題も見つかりました。技術だけでなく、メンタル面をコントロールする力、そして自分の走りを理解する必要があると考えました。

東京五輪まで1年を切りました。練習は今までにないくらい順調に積めており、出場へ向けて希望が持てます。また、島根県の皆様にはいつも温かいご声援を頂いております。その度に励みとなり、厳しい練習を乗り越える事が出来ております。その思いを胸に刻み、東京五輪では400mと4×400mリレーでの出



場を目指し精進してまいりますので、今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。

#### 青山聖佳選手のこれまでの主な成績

- 松江商高
  - 1年 2012年 ・国体少年B女子200m 1位
  - 2年 2013年 ・世界ユース陸上メドレーリレー 3位
  - 3年 2014年 ・全国高校総体 200m・400m 1位
  - ・国体少年A 400m 1位
  - ・アジア大会4×400mリレー 2位・400m 5位
- 大阪成蹊大
  - 1年 2015年 ・日本ジュニア200m 1位
  - ・世界陸上4×400mリレー日本新記録
  - 2年 2016年 ・日本選手権400m優勝
  - ・国体400m優勝
  - ・日本インカレ200m・400m優勝
  - 3年 2017年 ・日本学生個人400m 5位
  - ・日本選手権400m 6位
- 大阪成蹊AC
  - 2019年 ・国体成年400m優勝
  - ・日本選手権400m優勝
  - ・日本選手権400m優勝
  - 2020年 ・全日本実業団400m優勝

### 2020日本選手権優勝

#### 来間 弘樹

昨年の日本選手権優勝は嬉しい限りです。家族や会社、地元の皆さんから沢山のお祝いの言葉を頂き、日本一を実感し喜びを噛み締めました。4年ぶりの自己ベスト更新を日本選手権という大舞台で達成できたことに加え、優勝まですることができ、とても幸せに感じます。優勝の要因としては、「常に考えて競技に取り組む」ということが結びついたのだと考えています。これは大社高校時代に身に付いたものです。陸上部の先生は寡黙に見守り、多くの助言をされない方でした。そのため数少ない一つひとつの助言に対して何が正しいのかを常に深く考えることを意識しながら練習をするようになりました。さらに身長に恵まれな



2020年10月1日(木)~3日(土)に新潟市・デンカビッグスワンスタジアムで行われた日本選手権で島根出身の2選手が優勝を果たしました。青山選手は2年連続3回目、来間選手は初優勝です。今年行われる東京オリンピック出場への期待が高まる優勝でした。2人から日本選手権の優勝について、また東京オリンピック出場に向けての思いについてご寄稿いただきました。



かったことで、その弱みをいかにしてカバーするかの方法も考えて練習していたため、より「考える」ということが身につきました。これは大学以降も実行しており、僕が強くなれた要因の一つです。

今スポーツを頑張っている島根の小中高生、大学生、社会人の皆さんも、ただ練習をこなすだけではなく、より深く考えながら練習に取り組んでみてください。同じ練習でも違う発見があるかもしれません。新たな発見や学びが成長に繋がります。僕はその積み重ねが今回の優勝に繋がったと思っています。

2021年に東京オリンピックが延期したことで出場の可能

性は格段に上がりました。オリンピック出場には、今年の日本選手権の優勝が大きく関わります。緊張はありますが、このチャンスを楽しみながら、競技ができることに感謝をし、試合に臨みたいと思います。

応援よろしくお願い致します。

#### 来間弘樹選手のこれまでの主な成績

- 大社高
  - 3年 2013年 ・全国高校総体棒高跳7位
  - ・国体少年共通棒高跳8位
- 順天堂大
  - 1年 2014年 ・棒高跳日本ジュニア7位
  - ・日本学生個人棒高跳8位
  - 2年 2015年 ・棒高跳島根県新記録樹立
  - ・日本インカレ棒高跳6位
  - ・日本学生個人棒高跳8位
  - 3年 2016年 ・棒高跳島根県新記録樹立
  - ・日本選手権棒高跳6位
  - ・日本インカレ棒高跳3位
  - ・日本学生個人棒高跳3位
  - 4年 2017年 ・棒高跳山陰・島根県新記録樹立
  - ・日本学生棒高跳3位
  - ・日本選手権棒高跳6位
- ストライダースAC
  - 2018年 ・全日本実業団棒高跳8位
  - 2019年 ・全日本実業団棒高跳3位
  - 2020年 ・日本選手権棒高跳優勝
  - ・全日本実業団棒高跳3位

# 日本陸連アスレティックス・アワード2020 新人賞受賞

三浦 龍司 順天堂大学 【出身校】 浜田東中学校-洛南高校

この賞は、2020年の活躍が顕著であり、将来が期待される競技者に贈られるものです。三浦選手は7月にホクレンディスタンスチャレンジ千歳の男子3000m障害に出場し、8分19秒37の日本歴代2位となるU20日本新記録をマーク。この記録は従来のU20日本記録(8分31秒27)を37年ぶりに更新するもので、日本記録(8分18秒93)にも迫りました。また、東京オリンピック参加標準記録(8分22秒00)を上回っています。今大会の記録は参加資格の対象になりませんが、オリンピックの大舞台も視野に入ってきました。

その後、箱根駅伝予選会では、1時間1分41秒と大迫傑選手(現ナイキ)が持っていたハーフマラソンU20日本記録を更新。全日本大学駅伝では1区を任され、27分07秒

と従来の区間記録を18秒更新する区間新記録での区間賞で、チームにいい流れを生み出すなど、華々しい活躍をみせました。12月の日本選手権は直前の故障で欠場。箱根駅伝では1区で出場も故障の影響があったためか区間10位と思うような結果は残せませんでした。しかし、2月の日本選手権クロスカントリーで優勝し、復調を感じさせてくれました。まだ大学1年生の三浦選手、今後国際舞台での大いなる飛躍が予想され、まずは、東京オリンピックへの出場が期待されます。





## 令和2年度 常務理事会・第3回理事会について

2021年1月31日(日)常務理事会及び第3回理事会を松江市のサンラポーむらくもにて開催しました。新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながらの実施となりました。報告事項、決議事項は以下のとおりです。

### 報告事項

1. 令和2年度栄章受賞者について（1頁に受賞者を掲載）
2. 各専門委員会・専門部中間報告

### 協議事項

1. 令和3年度行事予定について（島根陸協HPをご覧ください）
2. 令和3・4年度役員について
3. 島根陸上競技協会諸会費の改定について（※①）
4. 島根陸上競技協会主催大会の参加料値上げについて（※②）



理事会の様子

- ※① 島根陸協の選手・審判登録料（年度当初の徴収金）を引き上げます。これは、その徴収金に含まれる日本陸連の年間登録料が2021年度より一般は100円から1,000円に、中高生は50円から500円になることに伴うものです。
- ※② 2021年度より島根陸協主催大会の全山陰陸上競技大会、島根陸上選手権大会、国体予選の参加料を次のように改定します。【個人種目：1,000円→1,500円・リレー種目：1,500円→2,000円】全山陰陸上競技大会の小学生・中学生種目についても同様に改定を行いますが、金額については検討中です。これまで、島根陸協では主催大会の参加料の改定を消費税増税の際も含めて長年行っておりませんでした。しかし、大会運営にかかる経費負担も増えてきたことからやむを得ず改定することとしました。現在の本協会主催大会参加料は、他の都道府県陸協主催大会のものと比較して安く、改定後でも平均的なものです。

登録料と参加料の改定については、選手や審判の皆様にはご負担をお願いすることとなります。これまで以上によりよい協会の運営、大会の運営に努めて参りますので何卒ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

## 令和2年度 賛助会員

本協会の活動趣旨に賛同していただき、賛助会員になっていただいた団体会員・個人会員の皆様のうち、お名前掲載にご快諾いただいた方々を紹介いたします。

◆法人会員 フジキコーポレーション(株)・浅利観光株式会社・松江ニューアーバンホテル

◆個人会員 目附 直人・渡辺 祥二・安達 寛・井上 啓史・原田 吉郎・小川 忠夫・藤井 清史  
(順不同・敬称略)  
 野田 嘉彦・加藤 慈夫・森岡 賢治・池田 保信・須山 春雄・近藤 隆久・矢田 悦夫  
 松崎 健二・加藤 裕治・山口 陽子・田口 健作・中村 芳信・須山 京吾・柴田 和治  
 細田 智大・細田 雅大・森山 健一・片山 圭・吉田 政司・矢野 力・有福 善一  
 佐々木雄三・森脇 宏・持田 信治・錦織 伸行・相見 真吾・郡司 位秀・斎藤 幸夫

●あたたかいご支援誠にありがとうございます。お寄せいただきました会費は、本協会の様々な活動に役立てていきます。

## 令和3年度一般財団法人島根陸上競技協会

## 賛助会員の募集について

島根陸上競技協会では、活動に賛同し援助していただける賛助会員（団体・個人）を募集いたします。年度ごとの会費を納めていただくと賛助会員として登録され、会員には広報紙の配布や5口以上の企業・団体会員については県陸協主催大会のプログラムへの広告掲載などの特典があります。

本協会のホームページに掲載の趣意書をご覧ください、右記の要領でご入会ください。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。たくさんの方のご支援をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 年会費  
個人会員→年額 2,000円を1口として、1口以上  
企業・団体会員→年額10,000円を1口として、1口以上
2. 申込期間 令和4年度3月31日まで
3. 払込方法  
郵便局での払込→別紙払込取扱票をご利用ください。(払込料不要)  
直接支払→協会事務局にご持参ください。